



第124回 OPERA研究交流セミナー
第116回 ISIT有機光エレクトロニクス研究特別室セミナー
第183回 未来化学創造センターセミナー



日時: 2015年6月29日(月) 15:00-
場所: 共進化社会システムイノベーション施設 2階大会議室

アクティブマトリクス型有機ELディスプレイの製造方法と技術的課題について

公益財団法人 くまもと産業支援財団 地域連携コーディネータ 長谷川 典夫

スマートフォンに代表される中小型情報端末に搭載されつつあるアクティブマトリクス型有機ELディスプレイ(以下、有機ELディスプレイ)の有する映像表示ポテンシャルは極めて高い。

近年、大型の有機ELディスプレイも製造可能となり、50型以上のサイズも販売されるようになったが、未だ量産時における課題は多い。

有機ELディスプレイ量産時、基板に配置されている薄膜トランジスタ特性が生産収率に極めて大きく影響することは周知の事実である。

本講演では、多結晶ポリシリコン上に形成された薄膜トランジスタ基板を用いて有機ELディスプレイを製造する場合の課題と対策を中心に据え、併せて有機ELディスプレイ市場の現状について述べる。

主催:九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター
:財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)
共催:九州大学 未来化学創造センター